様式３(2020.08改)

作成日　令和 3 年 2 月 9 日

# 外部評価軽減要件確認票

| 事業所番号 | 2392400160 |
|---|---|
| 事業所名 | グループホーム半田ケアセンターそよ風 |

【重点項目への取組状況】

| | | 評価 |
|---|---|---|
| 重点項目① | 事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２） | |
| | ・町内会には加入していない。地域の民生委員やコミュニティーセンター「憩の家」サロン、地域の掲示板等で情報を得て地域活動に参加していたが、今年度はコロナ禍のため、地域行事は中止となり、外出も規制されているため地域交流は出来ていない。<br>・事業所の夏祭りや高校生の体験学習、専門学生の実習も中止となっている。<br>・コロナ禍の中でも、何か地域とつながるものはないかと模索検討し、目標達成計画に挙げて職員間で取り組んでいる。<br>・コロナの感染対策が整えられ、安全が確保され地域との交流が可能になれば復活さる用意がある。 | ○ |
| 重点項目② | 運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３） | 評価 |
| | ・従来は入居者や家族、民生委員、市職員、包括支援センター職員の出席のもと、年6回開催しているが、今年度はコロナ禍のため6回とも書面での開催となっている。入居者家族からは事前に、返信用のハガキにて、意見や要望を求める工夫をしている。事業所の運営状況や活動内容、事故報告等の情報を家族や行政に報告している。<br>・家族から寄せられた意見や要望は職員間で話し合い運営やサービスに活かしている。 | ○ |
| 重点項目③ | 市町村との連携（外部評価項目：４） | 評価 |
| | ・市の担当窓口には介護保険の更新手続や代行等で訪れるが、コロナ禍のため最小限度となっている。行政からの通知等はメールや電話でのやり取りが多くなっている。コロナ禍でのアドバイスや指導は電話で受けている。<br>・研修も中止となり参加できていない。<br>・書面での運営推進会議報告を行っている。 | ○ |
| 重点項目④ | 運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６） | 評価 |
| | ・入居者からは日々の関わりの中から思いや要望を聞き記録に残し、全職員が認識、共有してケアにつなげている。<br>・家族からは、コロナ禍で面会や行事が中止される中でもコミュニケーションが取れるように、毎月の便りの中に返信用のはがきを同封し、意見や要望が寄せられるように工夫している。<br>・毎月の写真入り便りは、面会が規制されたり中止される中、家族に安心を届けている。<br>・意見箱を設置している。 | ○ |
| 重点項目⑤ | その他軽減措置要件 | 評価 |
| | ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 | ○ |
| | ○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。 | ○ |
| | ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。 | ○ |
| 総合評価 | | ◎ |

【備考欄】

コロナ禍の中、外出や面会、地域の行事や事業所内の行事、運営推進会議が中止になっている。このような時だからこそ先を見据えた計画の見直しや対策が必要と考える。その中で、地域との繋がりを模索検討したり、家族とのコミュニケーションの取り方など工夫がみられる。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

| 外部評価項目 | 確　認　事　項 |
|---|---|
| ２．事業所と地域のつきあい | （例示）<br>①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。<br>②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| ３．運営推進会議を活かした取り組み | （例示）<br>①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。<br>②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。 |
| ４．市町村との連携 | （例示）<br>①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。<br>②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。 |
| ６．運営に関する利用者、家族等意見の反映 | （例示）<br>①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。<br>②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。<br>③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。 |

【過去の軽減要件確認状況】

| 実施年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R元年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合評価 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ |
| 実施年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | R12年度 |
| 総合評価 | ◎ | | | | | | | | | | |